

第2号様式(第10条関係)

令和 6年 7 月 3 日

沖縄県議会議長 殿

沖縄県議会議員

仲里 全孝



令和 6年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第3項に基づき、別紙のとおり令和 6年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和 6年度 政務活動費収支報告書

議員名 仲里 全孝

1 収 入 政務活動費 450,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	0	
研 修 費	0	
広聴広報費	441,230	議会広報紙新聞折り込み料(4/12折込)
要請陳情等 活 動 費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
事 務 所 費		
事 務 費		
人 件 費		
合 計	441,230	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 余 8,770 円

統一様式-①

経費区分別支出一覧表

経費区分 広聴広報費

日付	使 途 内 容	支 出 額	充 当 割 合	充 当 額
6/24	議会広報(令和6年3月特別号)新聞折り込み料 (4/12琉球新報/沖縄タイムス)	441,230	全額	441,230
A. 小計				441,230
B. 支払証明書計				
広聴広報費 充当合計		/	/	441,230

充当割合:政務活動のみ全額充当

お客様No. [REDACTED]

営業 000653

領 収 証

No. 343576-1

仲里全孝 様

日 付	2024年06月24日
金 額	¥441,230※

上記の通り正に領収致しました。

入金内訳

内 訳	金 額	摘 要
振 込	¥441,230	議会報告書

丸正印刷株式会社

〒 903-0211

沖縄県西原町小那覇1215番地

TEL 098-835-8181 FAX 098-835-8184



議会広報(令和6年3月特別号)新聞折り込み料
(4/12琉球新報/沖縄タイムス)

議会広報紙新聞折り込み料 441,230 円

琉球新報 折込 配布表

有効：2024/04/01～2024/04/30

申込日：2024/04/01

広聴広報費

配布指定日 (折込)	2024/04/12	合計	琉球新報折込部数	
サイズ	A3	2,011	総部数	申込部数
スポンサー名	仲里全孝後援会		127,700	2,011
スポンサー住所		テラシタイトル	議会報告書	
取扱い先		スポンサー電話	スポンサー担当	
納入先		取扱い先電話	取扱い先担当	

市町村	販売区分	販売店	折込基本部数	申込部数	備考
本部町	本部町	塩川	15	0	
		崎本部	40	0	
		健堅・辺名地	115	0	
		瀬底	70	0	
		渡久地	290	0	
		伊野波一	10	0	
		伊野波二	80	0	
		並里	30	0	
		伊豆味	80	0	
		浜元	60	0	
		浦崎・謝花	70	0	
		備瀬	50	0	
		本部山川	95	0	
		本部新里	40	0	
		野原	45	0	
		本部大浜	120	0	
		本部具志堅	55	0	
		大堂	15	0	
		嘉津字	15	0	
		大嵐	5	0	
		水納島	3	0	
		北里	35	0	
		大堂(本集落用)	8	0	
本部直送	15	0			
本部町		本部町 全域	1,361	1,361	
伊江村	伊江村	イージマ(伊江中央)	470	0	
伊江村		伊江村 全域	470	470	
伊平屋村	伊平屋村	前泊	35	0	
		我喜屋	15	0	
		田名	20	0	
		伊平屋島尻	20	0	
		野甫	5	0	
伊平屋村		伊平屋村 全域	95	95	
伊是名村	伊是名村	伊是名村伊是名	85	0	
伊是名村		伊是名村 全域	85	85	

広聴広報費

折込日	4月12日	社名(請求先)	丸正印刷株式会社
折込枚数	1620	住所	西原町小那覇1215
サイズ	A3	チラシタイトル	仲里全孝 議会報告書

沖縄タイムス(折込申込書)【4月】

電話:098-835-8282	総合計/申込み合計	130,210	1,620
FAX:098-835-8184	(本島合計)	126,590	910
担当者:	(離島合計)	3,620	710

2024/3/15現在

※申込枚数入力時は▼を押し「0」と「空白セル」のチェックを外してください。 ※合計・小計枠は入力できません

地域	販売店	折込基本部数	折込枚数	備考
今帰仁村	全域	910	910	
	今泊	80	80	
	兼次	60	60	
	与那嶺	55	55	
	諸志	25	25	
	崎山	30	30	
	仲尾次(今帰仁)	45	45	
	越地	40	40	
	平敷	35	35	
	謝名	35	35	
	具我山	15	15	
	古宇利	15	15	
	湧川第一	0	0	※23年9月 廃店 湧川第二に統合
	仲宗根(今帰仁)	110	110	
	渡喜仁	45	45	
	白間	60	60	
	山岳・勢理客	45	45	
	白間分店	15	15	
	玉城	40	40	
	湧川第二	80	80	
	今帰仁直送	15	15	
	天底第二	65	65	
伊江村*※離島	全域	525	525	
	伊江島	525	525	
伊是名村*※離島	全域	100	100	
	伊是名	100	100	
伊平屋村*※離島	全域	85	85	
	我喜屋(伊平屋)	20	20	
	前泊(伊平屋)	20	20	
	島尻(伊平屋)	20	20	
	田名(伊平屋)	20	20	
	野甫(伊平屋)	5	5	

広報紙充当可能割合確認票

議員名

仲里 全孝

広報紙名	紙面割合
仲里全孝 議会活動ニュース 令和6年3月特別号	●全体面積: $29.7\text{cm} \times 21\text{cm} \times 12\text{面} = 7484.4\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 0cm^2 FALSE ●充当可能割合: $1 - (0\text{cm}^2 / 7484.4\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100$ 以下

沖縄県議会議員

仲里全孝

会派*沖縄・自民党

令和6年 3月特別号

沖縄県議会

〒900-0021 那覇市泉崎1-2-3 沖縄・自民党会派603号室
電話 098-866-2527



令和5年6月、9月、11月、2月 県議会定例会

日々お世話になっている皆さまへ
議会活動のご報告をさせて頂きたく、
本紙を発行する運びとなりました。

この1年間を振り返ると、エネルギー価格の高騰などの物価高をはじめとする経済課題や、福祉、教育など、県内様々な課題に向き合ってきました。そのなかで、具体的ところは、離島振興に関しては、インフラ整備・農業振興に取り組みなど、特に伊是名、伊平屋架橋整備については、県へ具体的な実行を促してきたことで、令和7年度に事業採択を目指す動きもあり、成果を実感しています。また、土木・インフラについても、本部港のバースの破損問題について地域との対話を県へ促し、PFOS、PFOA漏洩問題ではガイドライン整備を進めることなど、声を上げてきました。

教育に関しては、環境整備、学力向上など、各市町村と教育委員会や県の連携強化を促し、一定の成果を感じております。様々な課題に取り組むなかで、1年間、地域で起きている問題・課題をタイムリーに議会で取り上げ、県側に迅速な対応を促すことも当然のことながら意識してきてまいりました。

今後も皆さまの声を聴きながら、地域の暮らしが良くなるよう、引き続き全力で議会活動に尽力してまいりますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

2024年3月 沖縄県議会議員 仲里全孝



令和5年6月26日(月)第2回沖縄県議会(6月定例会)の一般質問(一日目)に沖縄・自民党より仲里全孝議員が6番手に立ちます。以下の質問項目を事前通告いたしました。

道路整備マネジメントについて

観光立県である沖縄県において、地域振興の観点から、移動の大半を担う道路の果たすべき役割は大きく、那覇空港や(離島を含む主要港湾、主要観光拠点へのアクセス性向上などに向け道路整備は重要な要素となっています。下記のとおり道路マネジメントについて知事の考え方を伺う。

- (1) 老朽化が進んでいる標識・車線の更新・補修・取替え状況を伺う。
- (2) 国道・県道の街路樹の剪定を含む植栽管理状況を伺う。
- (3) 国道・県道の維持管理の年間費用を伺う。

(4) 国道・県道の渋滞解消対策状況を伺う。

(5) 国道329号、金武町付近(県道104号線)へスマートインターチェンジ設置の要望があるが進捗状況を伺う。

(6) 国道329号から屋嘉インターチェンジ向け(県道88号線)へのアクセス道路延長工事(金武町60号線使用)の進捗状況を伺う。

(7) 国道331号から仲泊方面でのアクセスエリアで事故が多発しているが、対策を伺う。

離島振興について

離島振興なくして沖縄の振興なしという考えの下、「新たな離島振興計画」に基づき「持続可能な離島コミュニティの形成」を基本方向とし、社会・経済・環境が調和する持続可能な海洋島嶼圏の形成に向け取り組んでいくということですが、下記のとおり知事の考え方を伺う。

- (1) 伊是名・伊平屋架橋、伊平屋空港整備の進捗状況を伺う。
- (2) 仲田港及び運天港の屋根つき荷さばき施設整備の早期実現について
- (3) 老朽化が進んでいる伊平屋村離島振興総合センター建て替えの早期実現について

(4)「持続可能な離島コミュニティの形成」とあるが内容を伺う。

我が党の代表質問との関連について

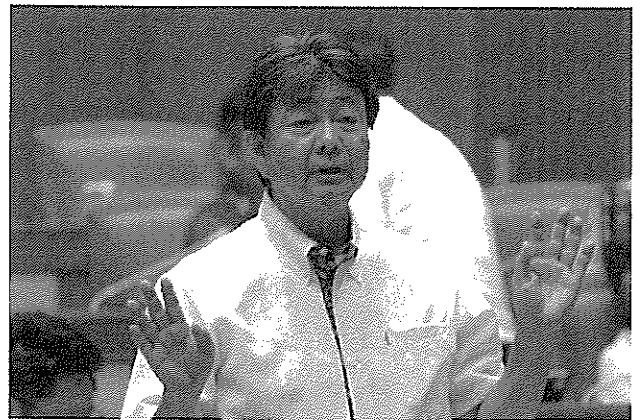
一般質問を終えて

5月19日、知事が直接、久辺3区へ出向いて意見交換を開催した件については、双方の考え方に食い違いがあることがわかった。引き続き、久辺3区との意見交換を開催し、基地問題解決に努めて欲しい。

「離島振興なくして、沖縄県の振興なし」と知事の政策の大きな柱のもと、持続可能な離島振興を進めていくなか、玉城デニー知事が直接島へ出向いて、首長、及び島民と伊是名、伊平屋の振興策の意

見の場を設けるとの答弁を頂いたのは、今回の成果。観光立県である沖縄県は、地域振興の観点から道路の果たす役割は大きい。

県の道路マネジメントの在り方についてはまだまだ、課題があるように受けとれた。今後、県の取り組みを注視してまいります。

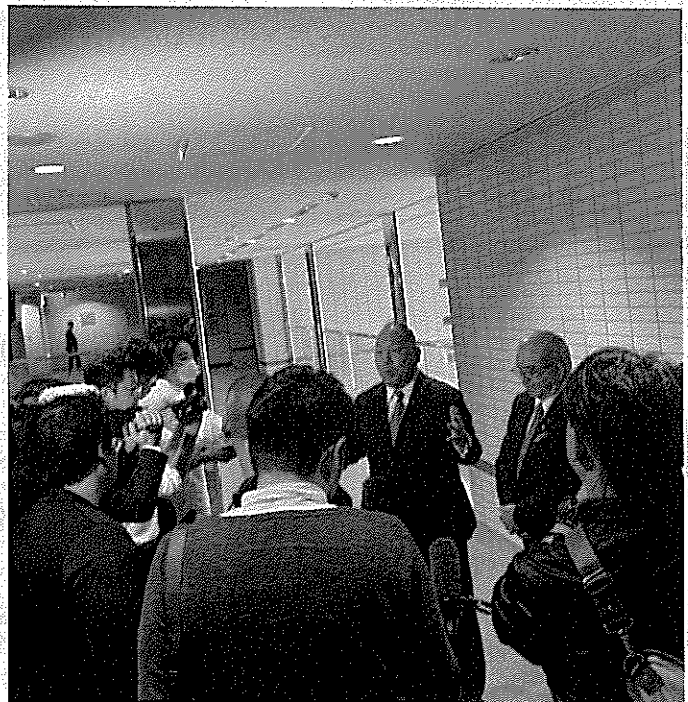


[表明] うるま市陸自訓練場計画の白紙撤回

令和6年2月27日

沖縄・自民会派は防衛力抜本的強化の基本方針は容認の立場とした上で、うるま市の陸自訓練場計画の「合意形成を得ることが難しいと言わざるを得ない」と白紙撤回を求める見解を表明しました。

また会派では、2月17日の木原防衛相との面談の際に、地域住民の理解を得るためにも丁寧な説明や検討で住民の不安を払拭するよう要請いたしました。



令和5年10月5日(木)第3回沖縄県議会(9月定例会)の一般質問(一口目)に沖縄・自民党より仲里全孝議員が7番手に立ちます。以下の質問項目を事前通告いたしました。

本部港湾施設の維持管理について

本部港湾施設は、物流・産業・教育・生活などの諸活動を支える社会基盤として重要な役割を担っており、本県の持続的発展に向けて大きな期待が寄せられています。下記のとおり知事の考え方を伺う。

- (1) 本部港旅客待合所のクーラー設備の修理進捗状況を伺う。
- (2) 和式から洋式トイレへの改修状況を伺う。
- (3) 台風6号で破損した岸壁の調査状況を伺う。

去る6月、沖縄県庁の地下駐車場に有害性が指摘されているPFOSを含む泡消火剤が漏れ出したとの報告がありました。知事の見解を伺う。

- (1) これまで沖縄県の公共施設で漏出した件数を伺う。
- (2) 現在、沖縄県管理施設内のPFOS保有量と除去作業状況を伺う。

(3) PFOSは国連でも取り上げられるほど問題になっているが、なぜ沖縄県はPFOS問題に取り組まないのですか。知事の考え方を伺う。

名護市県立高等学校北部合同寄宿舎「さくら寮」について

北部地域の離島過疎地域においては、高等学校の存在が地域活性化の原動力となるため、北部高等学校関係と市町村等が連携し「さくら寮」の管理運営を担っています。下記のとおり知事、教育長の考え方を伺う。

- (1) 那覇市所在の沖縄県立離島児童生徒支援センター(群星寮)同様、沖縄県の直営にすべきではないか県の考え方を伺う。
- (2) 平日及び土日祝祭日における舎監を1名配置してほしいが県の考え方を伺う。

我が党の代表質問との関連について

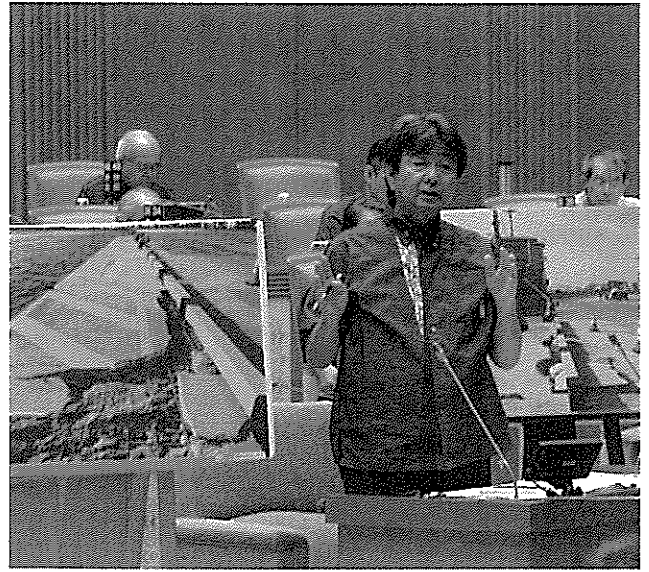
一般質問を終えて

・本部港湾維持管理における、施設内の設備について
クーラー設備については早期復旧するとの答弁であった。和式から洋式へのトイレ改修については町、村と調整していくということ。

・災害対策

台風6号での災害を踏まえ、引き続き、沖縄電力会社との停電対策に取り組んでいくということ、台風時の離島対策については伊是名村と引き続き、給水タンク拡充施設に取り組んでいくとの答弁があった。

護岸破壊については明らかに設計時からの問題があった、むしろ、本部町長からの要望を採用していたら破壊はなかったはずである。抜本的な対策が必要である。



・PFOS、PFOA

沖縄県のずさんな施設管理体制のあり方が明らかになった。他にも県管理の施設からPFOSの流水が発生したにも拘らず、県民に公表していなかった。体制を見直すべきである。

・学生寮の南北、離島格差については委員会などで検討していくということであった。

PFOS等含有泡消火剤 本庁舎漏出時緊急対応マニュアル



令和6年2月 沖縄県総務部管財課

[活動] デニー知事による国連人権理事会における 発言について(申し入れ)

令和5年9月6日

県議会会派沖縄・自民党が玉城知事に申し入れ。

今月17日から玉城デニー知事は、国連人権理事会で演説をおこなうためにジュネーブに出発する事が決まっている。会派沖縄・自民党は玉城知事が最高裁判決の敗訴が沖縄県民の人権を蔑ろにされているとした論調や、県議会で議論すらなされていない県民が先住民族であると誤解を招く様な発言を慎しむように申し入れを行った。





令和5年12月7日(木)第4回沖縄県議会(11月定例会)の一般質問(一日目)に沖縄・自民党より仲里全孝議員が7番手に立ちます。以下の質問項目を事前通告いたしました。

沖縄県では護岸のライフサイクルマネジメントのための老朽化調査及び老朽化計画マニュアルを策定されているが、知事の方考え方を伺う

(1) 防護機能が低下している護岸老朽化調査の状況を伺う。

(2) 国道329号線、金武町字伊芸付近の老朽化している護岸の整備計画の進捗を伺う。

沖縄県で過去約30年間に、県議会の議決が必要なにもかかわらず、議会に諮っていない事案が土木建築部で161件、企業局で1件あったと判明したことがマスコミなどで報道されている。下記のとおり知事の方考え方を伺う。

(1) 地方自治法第96条1項13号に基づく議

決を得ていなかったとあるが、内容を伺う。

(2) 県が加入する保険で損害賠償金を支払ったとあるが、内容を伺う。

(3) 土木建築部以外にも、沖縄県では不適切な会計処理や不手際、保健医療部での書類紛失など相次いでいるが、全庁挙げての再発防止の取り組みがどうなっているか、伺う。

令和3年5月27日に起きた本部港倉庫の上屋事故に関する状況を警察本部長に伺います。捜査の進捗状況及び捜査が長時間を要していることについて伺う。

我が党の代表質問との関連について

一般質問を終えて

・沖縄県全体の護岸のライフサイクルマネジメントに関わる老朽化調査及び老朽化計画の策定について

金武町伊芸区付近の老朽化している護岸については県、町と事業化に向けて取り組んでいる答弁を頂いた。

・県議会の地方自治法96条1項13号に基づく議決が必要にもかかわらず議会に諮っていない、不適切な会計処理や不手際が相次いでいる県庁の対応につき、全庁上げてどう再発防止に取り組むかについて

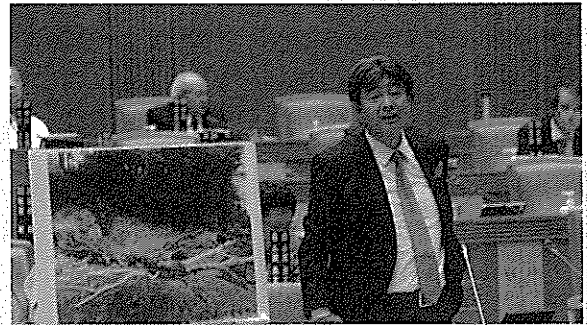
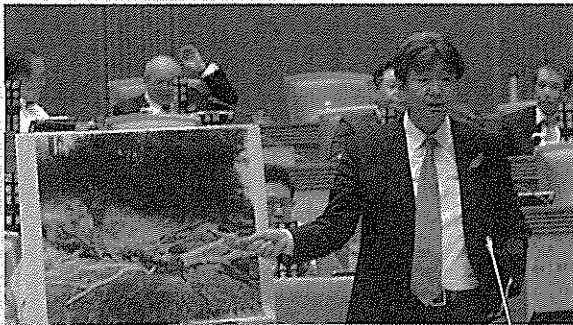
内部統制専任職員の配置、会計エキスパートの設置についてはまだ、議論の余地があると感じた。むしろ知事を先頭に、沖縄県内部統制体制の強化に取り組むべきである。

・令和3年5月27日に起きた本部港倉庫の上屋事故に関する捜査の状況、捜査に長時間を要している件について

発生から捜査に長時間を要していることについて、業務過失致死傷事件は、発生原因の特定のほか、その業務に関わる者の過失の認定に時間を要するため、専門

家からの意見聴取など必要な捜査を継続しているとのこと。

長時間を要し、立件に至っていないことがご遺族の精神的なご負担とならないよう、管轄署担者において、適宜の時期に捜査経過を説明している様子。県警察としては、可能な限り速やかに立件できるよう、必要な捜査を継続していくこと、警察本部長答弁頂いた。



令和6年2月28日(水)第1回沖縄県議会(2月定例会)の一般質問(二日目)に沖縄・自民党より仲里全孝議員が2番手に立ちます。以下の質問項目を事前通告いたしました。

令和6年1月16日に企業局導水管(石川浄水場～西原浄水場間)で漏水が確認されたとあるが、下記のとおり企業局長の考え方を伺う。

- (1) 事故の調査内容を伺う。
- (2) 漏水の原因は何か伺う。
- (3) 配管施設の耐用年数を伺う。
- (4) 再発防止策について伺う。

県庁地下2階の駐車場で昨年が発生した事故を受け、泡消火剤の漏出時の緊急対応指針と緊急対応マニュアルを策定したとあるが、下記のとおり知事の考え方を伺う。

- (1) 昨年、駐車場で起きたPFASを含む泡消火剤の流出事故については、対応は完了しているのか、状況を伺う。
- (2) 緊急対応マニュアルに、血中濃度試験の対応は含んでいるか伺う。
- (3) 緊急対応マニュアルに、企業局(飲料水・工業用水)の対応は含んでいるか伺う。

- (4) 緊急対応マニュアルに、農業用水(農薬散布含む)の対応は含んでいるか伺う。
- (5) 土壌試験の進捗状況を伺う。

玉城デニー知事は、2022年の知事選で学校給食費無償化を公約として掲げた。市町村からは、公約に基づき県財源で給食費無償化を早期に実現するよう要望が相次いでいるが、下記のとおり知事の考え方を伺う。

- (1) 2026年度から全小中学校の給食費完全無償化を目指すとするが、進捗状況を伺う。
- (2) 財源確保について内容を伺う。
- (3) 各市町村ごとの給食費無償化の取組状況について伺う。

我が党の代表質問との関連について

一般質問を終えて

一般質問開始前に、私の地元金武町屋嘉区となりの、うるま市石川地区で、自衛隊基地反対などに関する横断幕が掲げられており、訓練施設の計画は、予定地であるうるま市東山の、地元住民の理解を得ることが大前提であると考えていることを伝え申し上げ、一般質問を行いました。

各質問では、我が党関連について

1. さった台風8号について本部港のバースの破損に関する復旧作業の進捗について、地元のニーズに応えてない印象である。1日も早い本部町長との面談、事業説明を行うとの答弁をいただいた。

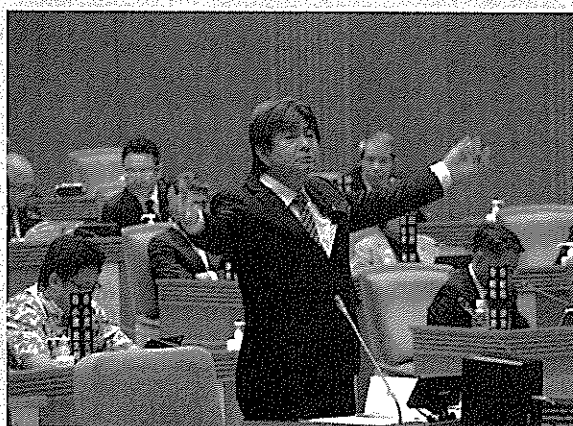
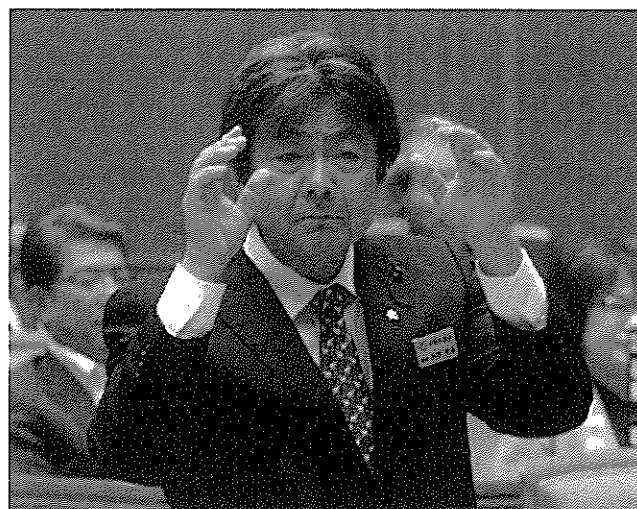
2. 1型糖尿病の公的助成金について25歳まで拡充へ、前向きな答弁をいただいた。

3. 伊是名、伊平屋架橋について、令和7年の採択に向けて取り組んでいる。令和6年度中に調査の結果を出す方向で進めている答弁をいただいた。

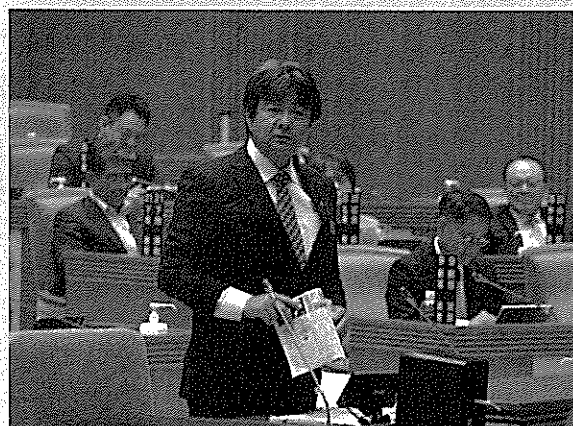
4. 令和6年1月16日に企業局導水管(石川浄水場-西原浄水間)で漏水が確認されたとある。耐用年数こえの配管が261キロも

あり、既設配管取り替えについて財源確保に懸念がみえた。

5. 県庁地下2階の駐車場で起きたPFOS、PFOAの漏出時の緊急対応指針と緊急対応マニュアルの策定については一定の評価はあるものの、血中濃度、企業局対応など、県庁全体の課題がみえた。



金武町字伊芸護岸整備についての集中審議の様様



本部港バース破損復旧に対する集中審議の様様



広島・岩国・福岡 視察

2月7日、広島市サッカースタジアムの視察



平和記念公園が[平和を祈る場]としたら、平和記念公園の北側の中央公園に位置するサッカースタジアム及び広場エリアは[平和であることを喜び、愉しむ場]として整備を進められ、これまでのサッカースタジアムにない新たな魅力をもつ施設として完成したとのことでした。

なかでも、キッズルームや、感覚過敏を持つ人が安心して観戦できるセンサールームの設置には感銘を受けた。

また、隣接する公園では3万人規模の



集客や地域イベントでも活用され、素晴らしい構想でありました。

総工費約300億円で建設され、沖縄県でも同規模の施設が可能であり、県民へ夢と希望が持てることだと感じました。



2月8日、岩国自衛隊基地視察



米海兵隊岩国基地には、米軍と海上自衛隊が駐留しており、米軍は第一海兵航空団(司令部は沖縄)のおよそ半数と第3海兵隊兵站群の分隊が駐留しています。また、海上自衛隊は第31航空群とその他の部隊が駐留しています。

現在、岩国基地の人口は米軍人、米軍属、米軍家族、日本人従業員、自衛隊員、その他の日本人勤務者を含めておよそ1万3千人です。

現在、航空機が離着陸を繰り返す岩国基地の滑走路は、約350年前は瀬戸内海の底に沈んでいたということでした。元々海であったこの場所は、昔の日本人が何百もかけて埋め立てられたものようですが、どのように建てられたのかはほとんど語られてることないとのことでした。

C130など自衛隊との共同運営などの話もあり、日米同盟の強化が感じられました。

福岡県議会でのワンヘルスの取り組みについては、少しずつ全国的に広まっているとのブリーフィングがありました。

今回の視察を通し学んだ事を、今後の議会活動へ生かしていきたいと思えます。

2月8日、視察終了後移動



令和6年第1回沖縄県議会(定例会)の3月28日の会議において 令和3年陳情第56号 伊平屋、伊是名架橋建設の早期実現に関する陳情を全会一致で採択

視察目的

1: 島々を結ぶ交通手段が海路に限られ、そのコストが人的・物的な移動の大きな障害となっている。島民から、伊是名・伊平屋架橋の早期実現と、空路においては伊平屋空港の早期運航が強い要望としてあげられ、このような公共交通の利便性の問題をはじめ、様々な課題を抱えている現状を理解する。

2: 県立診療病院の老朽化対策として、島民から移転建替の強い要望がある現状を理解する。

5月18日 伊是名村との意見交換及び現場踏査

○教育委員会

- ・ 専門職 (ICT 支援員、指導主事、ALT 等) の住環境の整備について

○建設環境課

- ・ 仲田港及び運天港の屋根付き荷捌き施設の整備について
- ・ 焼却施設の広域化について
- ・ 道路整備費の高額配分について

○企画政策課

- ・ 伊平屋・伊是名架橋の早期実現について

○総務課

- ・ 沖縄県消防指令センター全体更新に関する要望について

○住民福祉課

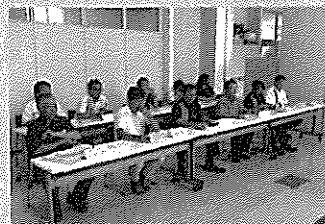
- ・ 沖縄県立北部病院付属伊是名診療所及び医師住宅並びに看護師住宅の早期実現について
- ・ 伊是名村立歯科診療所及び医師住宅の住環境整備について
- ・ 離島患者等宿泊施設建設について



5月19日 伊平屋村との意見交換及び現場踏査

○伊平屋村建設課

- ・ 伊平屋空港について
- ・ 伊是名・伊平屋架橋整備推進について
- ・ 前泊港・野甫港の機能強化及び拡充について



○伊平屋村住民課

- ・ 沖縄県立北部病院付属伊平屋診療所及び医師住宅並びに看護師住宅の高台移転について
- ・ 訪問看護等の移動に関する支援について
- ・ 焼却施設の広域化について

○伊平屋村観光課交通課

- ・ 伊平屋村ふるさと割の車輪の割引について
- ・ 観光客等の旅客切符の割引について

○伊平屋村農林水産課

- ・ アカン海岸整備について

○伊平屋村企画課

- ・ ソフト交付金・ハード交付金の増額について

○伊平屋村教育委員会

- ・ 離島振興総合センターの建て替えについて
- ・ 学校給食費の無償化について
- ・ 沖縄県離島高校生修学支援事業補助金の補助上限の増額について

今回の視察を通して、知事が離島振興なくして沖縄の発展なしというように、離島で抱えている諸問題、交通・物価高騰対策など問題解決を目指して、沖縄県議会に生かしていきたいと思います。



荷捌き屋根の延長要望



老朽化している加工所

